

女性ヘルスケア外来

女性は思春期から性成熟期、妊娠・出産、そして更年期、老年期とライフステージを通してホルモン分泌が変化し、体調や生活にも影響を与えます。あらゆる年代の女性特有のこころとからだの慢性的な症状、変動のある症状、健康上の不安などに対し、症状の軽減や不安の解消によって生活の質(Quality of life; QOL)の向上を目指すと同時に予防医学的観点に立った生活指導や治療を行います。

- ・ 若い年代からの月経痛への適切な対処と治療は、将来の子宮内膜症や不妊症の予防につながります。
- ・ 量が多すぎる月経をコントロールして貧血や潜在的な鉄欠乏に対処することは、日常生活における活力とメンタルヘルスの維持につながります。
- ・ 更年期のトラブルをきっかけにライフスタイルをふりかえり健康チェックをすることから高齢期を心身健やかに過ごすためのヒントを得て、対策を講じることにつながります。

このように、生涯を通して、あるいは月毎に、心身機能に変化が絶えない女性にとっては、自分の「現在地」を客観的に見つめて「今の健康」を大切にすることが「将来の健康」につながることをご理解いただいて、十分な説明のもと科学的根拠に基づいた標準的治療、ホルモン療法を実践します。

- ・ 思春期の月経異常
- ・ 無月経、月経不順
- ・ 月経困難症(月経痛)、過多月経、子宮内膜症
- ・ 月経前症候群、月経前不快気分障害、基礎疾患の月経前増悪
- ・ 他疾患に伴う月経異常
- ・ 更年期障害

